

風の恐怖から1年



市環境センター敷地内

昨年9月、猛威を振るった台風21号。市内では最大瞬間風速48・8メートルを観測し、電柱や木々が倒れたり、屋根が飛ばされたりする被害が発生しました。

あれから1年。市では、強風対策を講じるため、耐風構造分野を専門とし、強風対策のエキスパートである、京都大学防災研究所の丸山敬教授の指導の下、対策を進めています。

昨年の台風により避難所となる体育館が被害を受けたことから、建物の維持管理について丸山教授から指導を受けるほか、市民向けには家屋の補強や維持管理のポイントをまとめた冊子を作成します。また、強風対策を盛り込んだ地域防災計画の改正を行います。

今号は、丸山教授による専門的な視点からの風害対策のほか、台風に関する基礎知識や風の強さごとに与える影響を紹介いたします。



風で屋根が落ちた旧食堂室（市立第三中学校）